



- '23年10月に新築移転したクリニック外観。'04年から外来・日帰り手術機能をクリニックに、入院・手術機能を病院に分割し、より効率的な診療体制を整備。
- 明るく開放的な病棟のロビー。入院中もストレスなく過ごせるよう空間・環境づくりに配慮。
- 入院中のプライバシーを考慮した個室や、浴室も備えた特別室など幅広いタイプの部屋を用意している。

いしやま形成外科クリニック

形成外科 ● 形成外科疾患全般



大きな窓から光が差し込む、居心地のいい待合室。木目を活かした温かみのある空間が広がる。



国道 230 号線(石山通)沿いに建つスタイリッシュな外観。WEB 予約も可能で通いやすい。

[取材協力] 医療法人 藻友会 いしやま形成外科クリニック

☎011-530-1480
 函 札幌市中央区南15条西11丁目2-6
 図 じょうてつバス南14条西11丁目札幌いしやま病院前停すぐ 図7台 図予約優先

診療案内	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	●	●	●	●	手術	●	×
13:00~16:30	手術	手術	手術	×	手術	×	×

※第4土曜は休診

<https://www.ishiyama-plastic-surgery.com/>

WEB 情報は
こちら↓

QR

院長 石山 誠一郎

日本形成外科学会認定形成外科専門医。日本専門医機構 形成外科領域指導医。日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医。日本形成外科学会 レーザー分野指導医。北海道大学形成外科客員臨床講師。

できるだけ痛くなくキレイに “地域のかかりつけ形成外科医”

ケガや火傷をはじめ、生まれつきのあざやほくろ、皮膚の良性腫瘍や眼瞼下垂など、保険適応となる形成外科疾患全般に対応。専門医ならではの「傷をきれいに治す」手術・手法を用いて、より自然に、より美しく、正常に近い状態になるよう治療に取り組んでいる。入院治療が必要な場合は、系列の「札幌いしやま病院」への入院も可能。



“できるだけキレイに”、“できるだけ痛くなく”をモットーとした治療を心掛けている石山院長。

加齢に伴うまぶたのたるみ治療

まぶたが垂れ下がり、目が開きにくい状態「眼瞼下垂(がんけんかすい)」は、パソコン・スマートフォンの長時間使用や、まぶたの皮膚変性による老化現象の一つでもある。眼瞼下垂の手術では、機能面のみならず、整容面のバランスに十分な配慮が必要となるため、専門性の高い形成外科での受診がオススメ。

札幌いしやま病院／札幌いしやまクリニック

肛門外科 内視鏡外科

- 肛門疾患 ● 内視鏡検査(大腸・胃) ● 痔核・裂肛・痔瘻・日帰り手術 ● 便秘相談



間接照明を活かしたクリニックの待合ロビー。新しい診療案内システムを導入し、プライバシーへの配慮もされている。



日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病指導医・専門医が、豊富な経験をもとに質の高い医療を提供している。

豊富な手術実績。道外から来院する人も多数。

同院が開発した、痔核を切除せずに元の位置に戻して治す「ACL法(肛門クッション吊り上げ術)」により、痛みが少なく入院期間も短くすることを実現。この手術法を求めて、全国から多くの患者が来院し、さらに技術を学びに来る研修医師も多数。そのほか、複雑な難治性痔瘻の治療に取り組んでいる。



[取材協力] 医療法人 藻友会 札幌いしやま病院(入院)

☎011-561-2241 函 札幌市中央区南15条西10丁目4-1

医療法人 藻友会 札幌いしやまクリニック(外来)

☎011-551-2241 函 札幌市中央区南15条西10丁目4-10
 図 じょうてつバス南14条西11丁目札幌いしやま病院前停すぐ 図80台

診療案内	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	●	●	●	8:00~11:00	●	8:00~11:00	×
13:30~16:00	●	●	●	×	●	×	×

※火曜午後は女性専用受付

<https://www.ishiyama.or.jp>

理事長 石山 元太郎

日本外科学会認定医・専門医。日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病指導医・専門医・評議員。日本臨床肛門病学会 技能指導医。

全国から注目される治療技術 専門医による女性専用外来も

開院から48年、痔・直腸肛門疾患の専門病院の先駆けとして、豊富な経験に基づき痛みが少なく肛門機能を損なわない治療に尽力。同院が開発した「ACL法」や「肛門機能温存法」などは全国から注目され、年間約6万人の肛門疾患治療に対して専門性の高い治療を提供している。'23年10月にはクリニックを新築移転し、新しいシステムの導入

とさらなるホスピタリティの向上、良質な診療を実践。大腸内視鏡検査による大腸がんの早期発見にも力を入れていくので、排便時に違和感や異常を感じたらすぐに受診してほしい。また、毎週火曜日午後は「女性専用外来」を設置しているのも、受診をためらっていた人も症状が悪化する前に医師に相談を。

※'23年4月〜'24年3月の実績



肛門疾患のすべてにおいて、常により効果的な治療法の開発・施行に努めている石山元太郎理事長。

女性医師も在籍しているため、相談するのが恥ずかしいという人も気兼ねなく受診しやすい。



新しい医療機器を備えた内視鏡室。検査で大腸がんが見つかったというケースも少なくない。

